

2020年度第2四半期 決算補足資料

2020年11月10日

DOWAホールディングス株式会社

経営成績

■ 連結損益計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2019年度		2020年度		比較増減			
	上期実績	通期実績	上期実績	通期見込	上期		通期	
売上高	2,307	4,851	2,524	5,636	216	9%	784	16%
営業利益	110	259	126	313	15	14%	53	21%
経常利益	124	289	93	290	△ 31	△25%	0	0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	79	173	16	120	△ 63	△80%	△ 53	△31%

■ 為替・金属価格

	2019年度			2020年度		
	1Q平均	2Q平均	上期平均	1Q平均	2Q平均	上期平均
為替：(¥/\$)	109.9	107.4	108.6	107.6	106.2	106.9
銅：(\$/t)	6,114	5,798	5,956	5,341	6,521	5,931
亜鉛：(\$/t)	2,763	2,345	2,554	1,959	2,340	2,150
インジウム：(\$/kg)	173	155	164	146	148	147

事業環境（2020年度2Q）

➤ 廃棄物・リサイクル関連

廃棄物、リサイクル原料ともに概ね前年同期並みの受注
東南アジアは売上高が前年同期比で減少

➤ 自動車関連

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け販売が減少していたが、
第2四半期において回復に転じた

➤ 新エネルギー・電子部品関連

新エネルギー：中国向けを中心として販売量が増加

電子部品：第5世代移動通信システム（5G）向けの販売が堅調

➤ 為替相場・金属価格

為替は106円/米ドル前後で推移

金属価格は金、銀が継続して上昇し、亜鉛、銅は上昇に転じた

主要製品の動向

※2019年度1Qを100として指数化

		2019年度				2020年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
環境・ リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	89	94	90	92	88
	リサイクル原料集荷量 (小坂製錬向け)	100	106	107	101	107	100
	東南アジア廃棄物処理額	100	97	98	110	102	86
製 錬	銅生産量 (小坂・小名浜合計)	100	94	90	110	100	90
	亜鉛生産量	100	69	93	90	89	64
電子材料	LED販売量	100	122	106	110	124	130
	銀粉販売量	100	116	123	127	107	122
金属加工	伸銅品販売量	100	103	104	96	71	82
熱 処 理	熱処理加工売上高	100	102	104	99	56	85
	工業炉売上高	100	117	102	110	64	83

セグメント別損益（2020年度上期）前年同期比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2019年度上期 実績			2020年度上期 実績			比較増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	535	34	31	565	36	34	30	2	2	・廃棄物処理単価の上昇 ・家電リサイクル処理量の増加 ・東南アジアでの受注減
製錬	1,078	34	46	1,240	77	86	162	43	39	・貴金属価格の上昇 ・原料の購入条件の好転 ・PGM回収量の増加
電子材料	437	6	12	623	9	16	185	3	4	・LED、銀粉の増販 ・磁性粉の減販
金属加工	415	24	25	310	5	6	△ 104	△ 18	△ 18	・自動車関連製品・サービスの需要減少
熱処理	140	6	5	97	△ 7	△ 7	△ 43	△ 13	△ 13	・自動車関連製品・サービスの需要減少
その他、 全社・消去	△ 298	4	2	△ 312	3	△ 43	△ 14	△ 1	△ 45	・持分法適用関連会社の業績悪化
計	2,307	110	124	2,524	126	93	216	15	△ 31	

経常利益の要因別分析

単位：億円（億円未満切捨て）

2020年度上期 - 2019年度上期	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	2	5	1	△ 18	△ 12	△ 1	△ 24
うち実収差量（数量差）	-	8	-	-	-	-	8
実収差量（金属価格単価差）	-	30	-	-	-	-	30
外貨建収入為替差	-	△ 3	0	-	-	-	△ 3
原料条件（条件差）	-	13	-	-	-	-	13
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	△ 4	-	-	-	-	△ 4
電力代ほか	-	4	-	-	-	-	4
減価償却費（製造原価）	1	△ 3	2	△ 0	△ 1	△ 0	△ 1
営業利益増減	2	43	3	△ 18	△ 13	△ 1	15
営業外収支の影響							
・持分法損益	1	△ 10	△ 0	0	-	△ 42	△ 51
・その他	△ 1	6	1	0	△ 0	△ 2	4
経常利益増減	2	39	4	△ 18	△ 13	△ 45	△ 31

セグメント別損益（2020年度上期） 8/7予想比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2020年度上期 予想（8/7）			2020年度上期 実績			比較増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	553	30	31	565	36	34	12	6	3	・廃棄物処理単価の上昇 ・家電リサイクル処理量の増加
製錬	1,109	35	42	1,240	77	86	131	42	44	・金属価格の上昇 ・PGM回収量の増加
電子材料	510	9	16	623	9	16	113	0	0	・銀粉の増販 ・磁性粉の減販
金属加工	299	△ 5	△ 4	310	5	6	11	10	10	・自動車関連製品・サービスの 需要が回復
熱処理	98	△ 8	△ 9	97	△ 7	△ 7	△ 0	0	1	
その他、 全社・消去	△ 294	5	△ 42	△ 312	3	△ 43	△ 18	△ 1	△ 1	
計	2,275	66	34	2,524	126	93	249	60	59	

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満切捨て）

	2020年 3月末	2020年 9月末	比較増減		2020年 3月末	2020年 9月末	比較増減
流動資産	2,421	2,538	117	流動負債	1,567	1,826	258
				固定負債	974	881	△ 93
固定資産	2,703	2,697	△ 5	自己資本	2,480	2,410	△ 70
				非支配株主持分	101	118	16
総資産	5,124	5,236	111	負債・純資産計	5,124	5,236	111
				有利子負債	1,340	1,386	45
				自己資本比率（%）	48.4	46.0	△ 2.4

- ✓ 金属価格の上昇による棚卸資産の増加などにより流動資産が増加し、当期末の総資産額は前期末比+111億円の5,236億円となった。
- ✓ 手元流動性の確保のため、現預金の積み上げを実施したこと等から、当期末の有利子負債は1,386億円に増加した。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2019年度 上期	2020年度 上期	比較増減
営業キャッシュフロー	218	233	14
税金等調整前当期純利益	124	87	△ 36
減価償却費	92	94	1
法人税等	△ 32	△ 82	△ 50
棚卸資産	39	△ 236	△ 275
その他	△ 5	370	375
投資キャッシュフロー	△ 217	△ 168	49
設備投資	△ 151	△ 160	△ 8
その他投資	△ 66	△ 8	58
財務キャッシュフロー	60	△ 4	△ 65
キャッシュフロー計	61	60	△ 1

2020年度通期 連結業績予想

単位：億円（億円未満切捨て）

	2019年度 実績	2020年度 予想	比較増減	
売上高	4,851	5,636	784	16%
営業利益	259	313	53	21%
経常利益	289	290	0	0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	173	120	△ 53	△31%

- ✓ 未定としておりました2020年度通期の連結業績予想につきまして、
上期の業績および現時点で入手可能な情報や予測等に基づき
上記の通りに算定いたしました。

セグメント別損益（2020年度通期） 前年比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2019年度 実績			2020年度 見込			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・リサイクル	1,121	72	69	1,161	75	71	39	2	1
製錬	2,272	100	122	2,636	168	209	363	67	86
電子材料	982	10	24	1,533	22	32	550	11	7
金属加工	823	51	51	755	32	36	△ 68	△ 19	△ 15
熱処理	279	12	12	248	7	6	△ 31	△ 5	△ 6
その他、全社・消去	△ 628	13	10	△ 696	9	△ 63	△ 68	△ 4	△ 74
計	4,851	259	289	5,636	313	290	784	53	0

セグメント別損益（2020年度下期） 前年同期比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2019年度下期 実績			2020年度下期 見込			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・リサイクル	586	37	37	595	38	36	9	0	△ 0
製錬	1,194	65	75	1,395	90	122	200	24	47
電子材料	544	3	11	909	12	15	365	8	3
金属加工	408	26	26	444	26	29	35	△ 0	2
熱処理	139	6	6	150	14	13	11	8	6
その他、全社・消去	△ 329	8	7	△ 384	5	△ 20	△ 54	△ 2	△ 28
計	2,543	148	165	3,111	186	196	567	38	31

セグメント別損益（2020年度下期） 上期比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2020年度上期 実績			2020年度下期 見込			比較増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	565	36	34	595	38	36	29	1	2	
製錬	1,240	77	86	1,395	90	122	155	13	36	・金属価格の上昇 ・PGM回収量の減少 ・海外亜鉛鉱山の業績改善
電子材料	623	9	16	909	12	15	285	2	△ 0	
金属加工	310	5	6	444	26	29	133	20	22	・自動車関連製品・サービスの 需要が回復
熱処理	97	△ 7	△ 7	150	14	13	53	21	21	・自動車関連製品・サービスの 需要が回復
その他、 全社・消去	△ 312	3	△ 43	△ 384	5	△ 20	△ 71	2	22	・持分法適用関連会社の 業績改善
計	2,524	126	93	3,111	186	196	586	60	103	

前提条件・感応度（2020年度下期）

感応度（営業利益/下期）

単位：億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	105.0 円/\$	±1 円/\$	2.6
銅	6,500 \$/t	±100 \$/t	0.2
亜鉛	2,400 \$/t	±100 \$/t	2.4
インジウム	160 \$/kg	±10 \$/kg	0.3

※為替感応度の内訳は、製錬部門2.3億円、電子材料部門0.3億円です。

為替、金属価格

	2019年度			2020年度				(参考)
	上期平均	下期平均	年度平均	上期前提	上期平均	下期前提	年度平均	10月平均
為替：(円/\$)	108.6	108.8	108.7	107.3	106.9	105.0	106.0	105.3
銅：(\$/t)	5,956	5,763	5,860	5,821	5,931	6,500	6,216	6,703
亜鉛：(\$/t)	2,554	2,256	2,405	2,030	2,150	2,400	2,275	2,442
インジウム：(\$/kg)	164	149	156	143	147	160	154	171

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の状況

単位：億円（億円未満切捨て）

	2017年度			2018年度			2019年度			2020年度上期			2020年度通期		
	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計
環境・リサイクル	82	4	86	66	3	70	206	3	210	82	2	84	138	4	142
製 錬	123	12	136	264	13	277	74	9	83	40	2	42	76	6	83
電 子 材 料	46	34	81	38	39	77	28	43	72	21	20	41	57	42	100
金 属 加 工	36	5	42	59	7	67	62	6	68	22	3	25	39	7	46
熱 処 理	49	3	53	54	2	56	43	1	45	8	1	9	13	2	16
全社、その他	8	0	9	10	△ 1	8	11	△ 1	10	5	0	6	25	△ 1	24
合計	348	61	409	493	63	557	426	63	490	180	29	210	351	62	414

(参考) 減価償却費

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 上期	2020年度 通期
環境・リサイクル	43	53	54	26	60
製 錬	46	41	42	21	46
電 子 材 料	27	28	31	12	29
金 属 加 工	24	27	30	14	32
熱 処 理	20	23	25	13	26
全社、その他	10	11	8	3	7
合計	172	186	192	91	203

■ 2020年度の主な投資

環境・リサイクル：埋立処分場の建設（国内）

製錬：不純物除去能力の増強

電子材料：近赤外LEDの生産設備の建設

金属加工：伸銅品生産設備の増強

熱処理：熱処理加工設備の増強

(参考) ヒストリカルデータ

■ 連結財務数値

単位：億円（億円未満切捨て）

		2018年度					2019年度					2020年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
合計	売上高	1,151	1,066	1,145	1,165	4,529	1,162	1,145	1,219	1,323	4,851	1,154	1,370	-	-	-
	営業利益	69	24	34	58	186	68	41	65	83	259	49	76	-	-	-
	経常利益	85	42	40	73	243	76	47	79	85	289	33	59	-	-	-
	親会社株主に帰属する 当期純利益	60	28	17	42	149	48	30	55	39	173	1	14	-	-	-
環境・リサイクル	売上高	263	248	252	278	1,044	258	276	282	303	1,121	277	287	-	-	-
	営業利益	17	10	16	12	56	18	15	16	21	72	18	18	-	-	-
	経常利益	19	13	16	13	62	15	15	18	18	69	21	12	-	-	-
製錬	売上高	587	506	548	575	2,216	581	497	568	626	2,272	604	635	-	-	-
	営業利益	16	△ 14	△ 16	20	5	27	6	26	39	100	34	42	-	-	-
	経常利益	28	△ 1	△ 11	31	46	35	11	35	39	122	33	52	-	-	-
電子材料	売上高	177	155	170	146	649	193	244	269	275	982	238	385	-	-	-
	営業利益	11	4	3	2	21	2	3	2	1	10	6	2	-	-	-
	経常利益	13	7	4	4	31	5	6	6	5	24	10	6	-	-	-
金属加工	売上高	230	229	233	226	920	211	203	203	204	823	149	161	-	-	-
	営業利益	16	14	19	12	62	15	9	12	14	51	△ 4	10	-	-	-
	経常利益	17	14	19	12	64	15	9	12	14	51	△ 3	10	-	-	-
熱処理	売上高	63	72	79	80	297	67	72	69	70	279	39	57	-	-	-
	営業利益	4	7	7	4	24	2	3	3	2	12	△ 9	2	-	-	-
	経常利益	5	7	8	4	25	2	3	3	3	12	△ 10	3	-	-	-
その他、 全社・消去	売上高	△ 171	△ 145	△ 139	△ 142	△ 599	△ 150	△ 148	△ 174	△ 155	△ 628	△ 155	△ 156	-	-	-
	営業利益	2	1	3	6	14	2	2	3	5	13	2	0	-	-	-
	経常利益	1	0	3	7	12	1	1	3	4	10	△ 17	△ 25	-	-	-

■ 前提条件

	2018年度					2019年度					2020年度				
	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替：(¥/\$)	109.1	111.5	112.9	110.2	110.9	109.9	107.4	108.8	108.9	108.7	107.6	106.2	-	-	-
銅：(\$/t)	6,872	6,103	6,168	6,220	6,341	6,114	5,798	5,888	5,638	5,860	5,341	6,521	-	-	-
亜鉛：(\$/t)	3,114	2,534	2,630	2,704	2,746	2,763	2,345	2,384	2,128	2,405	1,959	2,340	-	-	-
インジウム：(\$/kg)	307	266	233	210	254	173	155	150	148	156	146	148	-	-	-

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。